

大使館情報

2022年11月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策等
- (3) 金融政策
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（2022年10月の出来事）

【内政】

- (1) ボルソナーロ政権の支持率
- (2) 2022年大統領選関連（決選投票の結果）

【外交】

- (1) フランサ外相のエクアドル訪問

3. トピックス

- (1) マナウス日本人学校の生徒による大使館訪問（9月30日）
- (2) 第35回生け花展の実施（10月20～23日）
- (3) 林大使のミナスジェライス州訪問（10月26～27日）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 在伯公館 SNS リンク一覧
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢 (10月発表の経済指標)

- (ア) 8月の鉱工業生産指数は前月比▲0.6%、前年同月比+2.8%となった。
- (イ) 8月の小売売上高は前月比▲0.1%、前年同月比+1.6%となった。
- (ウ) 9月の拡大消費者物価指数 (IPCA) は前月比▲0.29%となり、前月 (▲0.36%) から低下幅は縮小したものの3か月連続の減少となった。直近12か月累計は+7.17%となり、前月 (同+8.73%) から上昇幅は1.56%ポイント縮小した。
- (エ) 失業率 (7~9月) は8.7%となり、3か月前 (4~6月) の移動平均9.3%から0.6%ポイント低下。また前年同期比 (2021年7~9月) の12.6%から3.9%ポイント低下した。
- (オ) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査 (Focus 調査) について、10月28日時点で、GDP成長率予測については、2022年は+2.76% (前週から変わらず) で、2023年は+0.64% (前週から0.01%ポイント上昇) となった。インフレ率については、2022年は5.61% (前週から0.01%ポイント上昇) で、2023年は4.94% (前週から変わらず) となった。

(2) 経済政策等

10月30日に実施された大統領選挙決選投票でルーラ元大統領が当選。第1回投票と同日 (10月2日) に実施された議会選挙において上下院で右派が優勢となったこと等を受け、ルーラ政権となった場合でも中道寄りの政策となるとの見方。同次期大統領は選挙期間中、歳出上限の撤廃、アウシリオブラジルの給付金額の増額、所得税非課税枠の拡大等を主張。今後、経済政策についての詳細や経済担当閣僚の指名に注目が集まる。

(3) 金融政策

10月25日及び26日に開催された伯中央銀行金融政策委員会 (Copom) において、政策金利である Selic 金利を13.75%に据え置くことが決定された。政策金利の据置は前回9月会合から2会合連続。伯中銀は2021年3月から2022年8月まで12会合連続で、政策金利の引上げを実施していた。次回会合は12月6日及び7日に開催予定。

(4) 為替市場 (レートは伯中銀の公表値から算出)

- (ア) 10月の為替市場は5.14~5.35リアル/ドルで推移。
- (イ) (月の前半は5.14~5.30リアル/ドルで推移。ブラジル大統領選挙第1回投票の結果を受け月初にはリアル高となったが、米国の金融政策や英国の経済政策を巡る動向等を材料に、概ね下落傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は5.19~5.35リアル/ドルで推移。米国の金融政策や欧州経済の他、

ブラジル大統領選挙決選投票を巡る動向等を材料に上下する展開となった。

(5) 株式市場

- (ア) 10月の株式市場は112,072～119,929ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は112,072～117,561ポイントで推移。ブラジル大統領選挙第1回投票の結果を受け上昇するも、米国の金融政策や世界経済の動向等を材料に概ね下落傾向で推移した。
- (ウ) 月の後半は112,764～119,929ポイントで推移。資源価格やブラジル大統領選挙決選投票を巡る動向等を材料に上下する展開となった。

2. ブラジル政治情勢（10月の出来事）

【内政】

(1) ボルソナーロ政権の支持率

10月28日、Datafolha社が公表した10月25日から27日にかけて、4580人を対象に実施した世論調査の結果によれば、ボルソナーロ政権の支持率は38%、不支持率は39%となった。

(2) 2022年大統領選挙（決選投票の結果）

10月30日、伯大統領選挙決選投票が実施され、ルーラ元大統領（PT）が有効得票の50.90%、ボルソナーロ大統領（PL）が49.10%の得票率で、ルーラ候補が勝利することとなった。大統領就任式は2023年1月1日に実施される予定。

【外交】

(1) フランサ外相のエクアドル訪問

10月23日～25日、フランサ外相はエクアドルを公式訪問し、ラッソ大統領を表敬訪問した他、オルギン・エクアドル外相と、地域・国際情勢等について会談を実施した他、「領事対話及び人の流動性に関する覚え書き」に署名した。

3. トピックス

(1) マナウス日本人学校の生徒による大使館訪問（9月30日）

9月30日（金）、林大使はマナウス日本人学校の生徒による大使館訪問を受け、生徒一人一人からの質問に答え、記念撮影を行う等の交流を行った。また、その後高野公使より外務省や大使館の業務について説明を行った。

生徒一同は修学旅行の一環で大使館へ来館しており、首都ブラジリアを訪れることで、文化・歴史・自然等を知りながら、集団生活を通して友人との協力や集団規律を学ぶと共に思い出を作られた。



生徒の質問に答える林大使



大使と生徒のみなさんによる記念撮影



林大使と生徒及び教員のみなさんと記念撮影



高野公使からの業務説明

(2) 第35回生け花展の実施(10月20~23日)

10月20日~23日、当館は生け花草月ブラジリアと共催で「第35回生け花展」を市内ショッピングモールで開催した。20日開催されたオープニングイベントでは林大使が挨拶を行ったほか、林大使による墨絵及び生け花草月ブラジリアによる生け花のデモンストレーションが行われた。



生け花草月のリア代表と林大使



林大使による墨絵デモンストレーション



展示された生け花の数々

(3) 林大使のミナスジェライス州訪問（10月26～27日）

林大使は10月26～27日の日程でミナスジェライス州を訪問した。

26日はイパチंगा市にあるセニブラ社を訪問し、同社にまつわる日本とブラジルの永年の協力について説明を受けたのち、同社鎌田社長との意見交換やパルプ工場の見学等を行った。



その後はウジミナス社を訪問し、工場見学やアルベルト・オノ代表との意見交換ののち、同社の60周年記念式典に出席した。

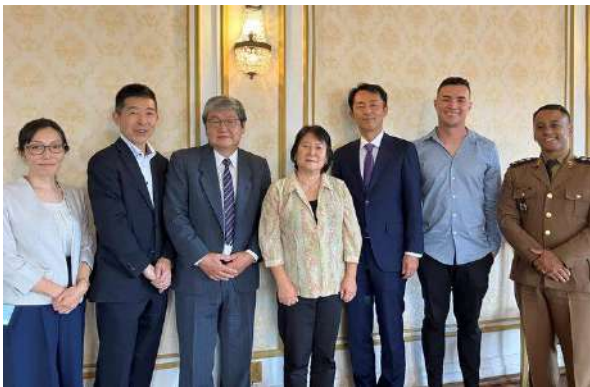




翌 27 日はベロオリゾンテ市にてノーマン・ベロオリゾンテ市長への表敬訪問を行い、今後の日伯の文化交流や自然災害に対する協力について意見交換を行った。



その後は次期連邦下院議員のペドロ・アイハラ氏、ミナスジェライス州日伯文化協会理事のオスカー・シミズ氏、ミナスジェライス州軍警察のロナン・ササダ氏と懇談を行ったのち、同軍警察幹部を訪問し、意見交換を行った。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 在伯公館 SNS リンク一覧

在ブラジル大使館をはじめ各総領事館及び領事事務所では、SNS にて文化イベントを含め最新情報等を随時更新しています（以下リンク先をご参照ください）。

在ブラジル大使館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在ベレン領事事務所 : [facebook](#)

在マナウス総領事館 : [facebook](#)

在レシフェ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#)

在リオデジャネイロ総領事館 : [facebook](#) [instagram](#) [YouTube](#)

在サンパウロ総領事館 : [facebook](#) [YouTube](#)

在クリチバ総領事館 : [facebook](#) [Instagram](#) [YouTube](#)

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開しています。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開しています。在伯大使館の情報（令和4年度第2四半期）は以下のリンク先から。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開しています。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開しています。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報・感染症危険情報

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

●危険情報

最新更新日：2022年4月5日

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっています。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブーコ州大レシフェ圏
- ・バイーア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

●感染症危険情報

最新更新日：2022年10月19日

感染症危険情報レベルを更新し、全世界を一律レベル1（十分注意してください）に見直しました。

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2022年8月1日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開しています。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2022年8月2日

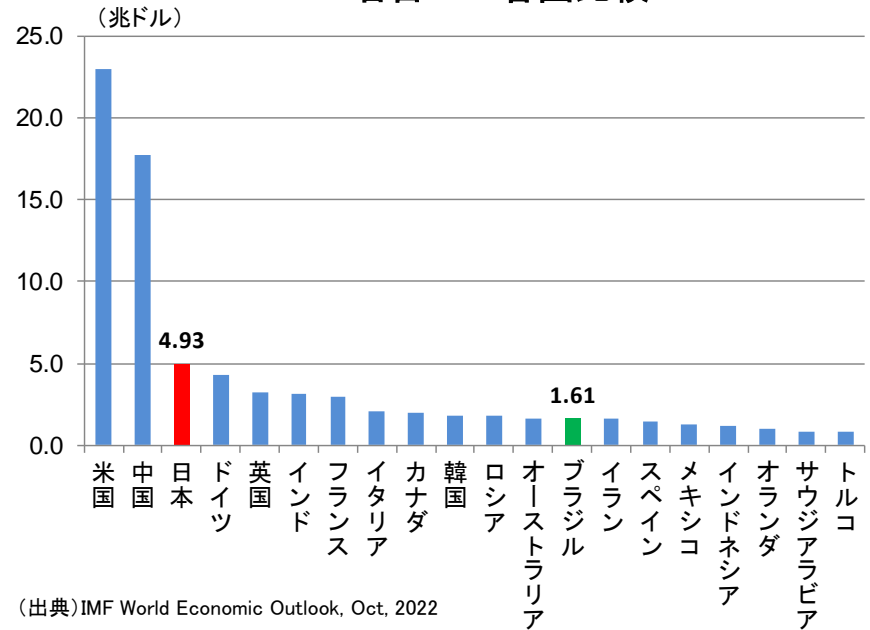
https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html

ブラジル経済・二国間経済関係概観

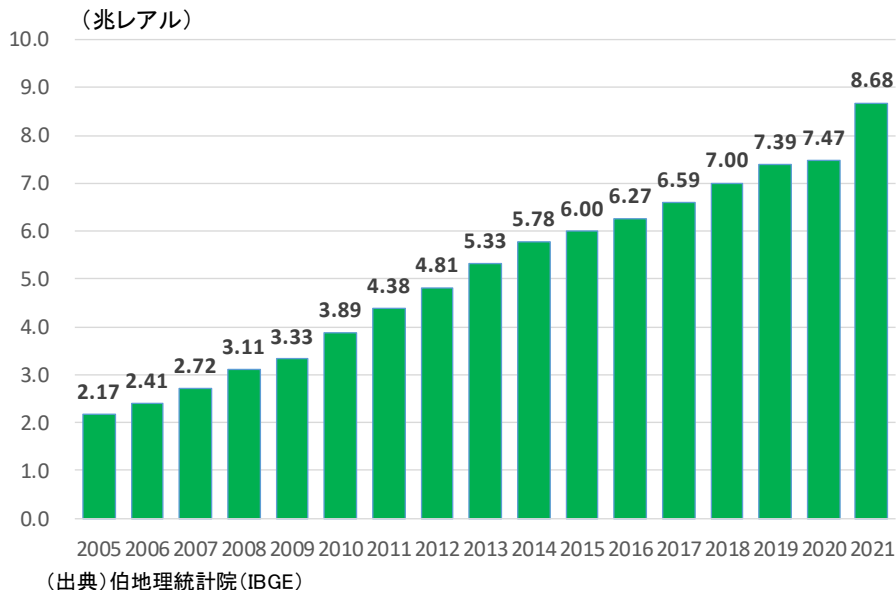
1. 経済構造

1. 人口約2億1,331万人、面積約851万km²(2021年)
2. 世界第13位の経済規模(名目GDP約1兆6,081億ドル(2021年):日本の約33%)。一人当たりGDP(約7,564ドル(2021年))は、日本の約19%。
3. 世界有数の農業・資源国であるが、産業別国内総生産(GDP)額では第三次産業(サービス業)が高いウェイトを占めている。
4. GDPを需要項目別でみると、家計消費や総固定資本形成(投資)といった内需が成長に寄与している。

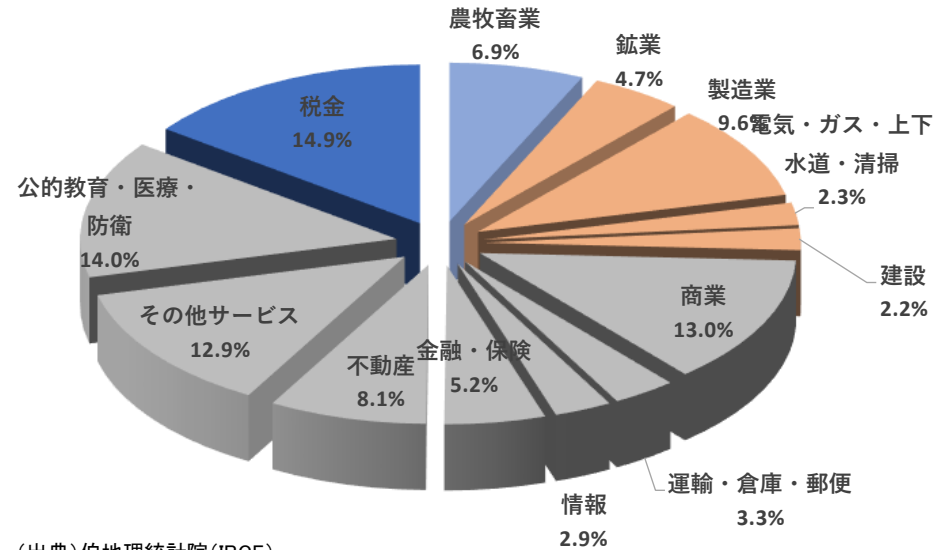
名目GDP各国比較



名目GDPの推移



名目GDPの産業別構成比(2021年)

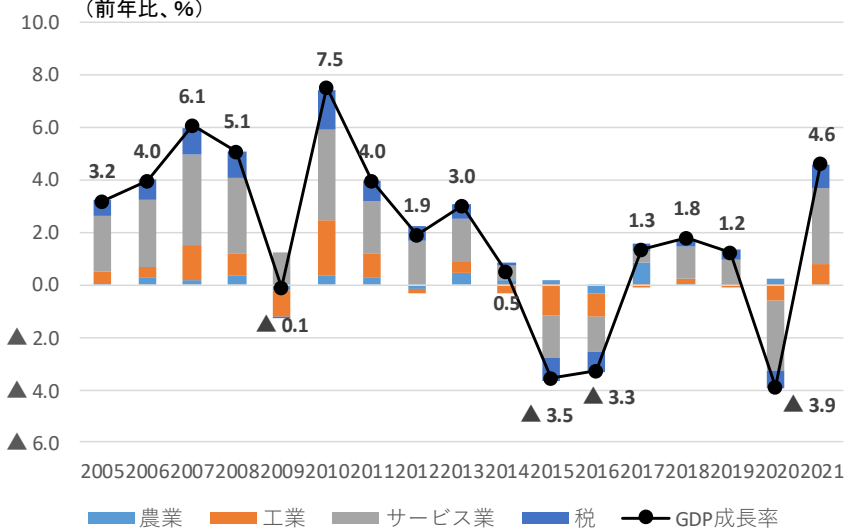


II. 経済の現状

ブラジル地理統計院(IBGE)が2022年9月に発表した2022年第2四半期の実質GDP成長率は、前期比+1.2%(4四半期連続のプラス)、前年同期比+3.2%(6四半期連続のプラス)となった。

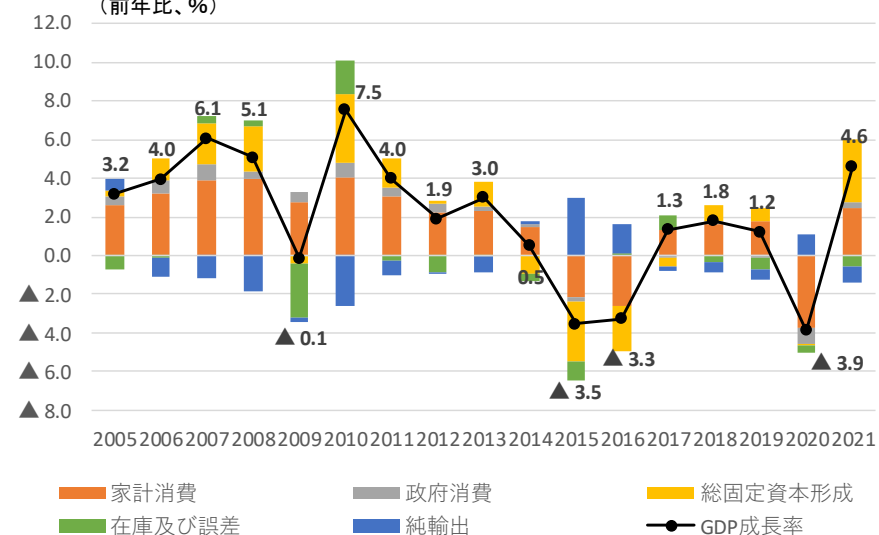
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(暦年)

(前年比、%)



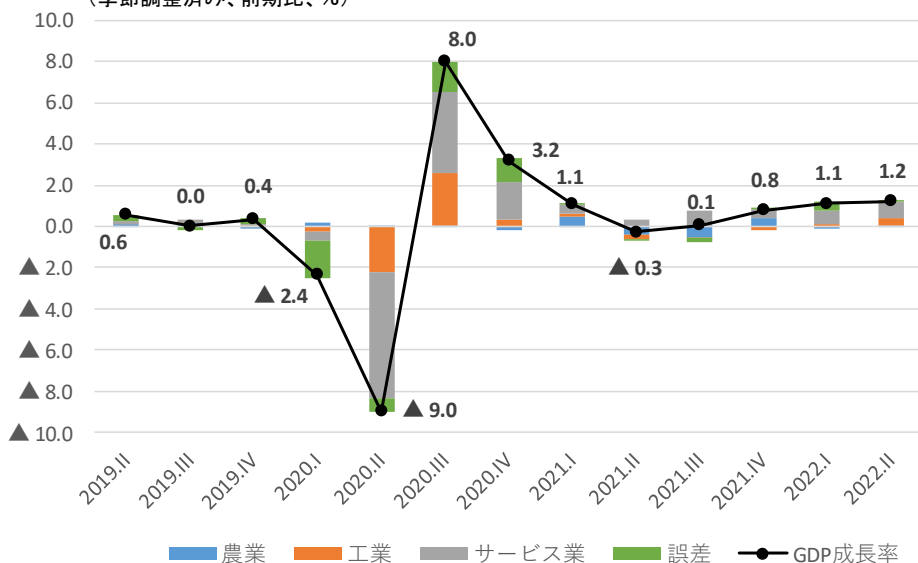
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(暦年)

(前年比、%)



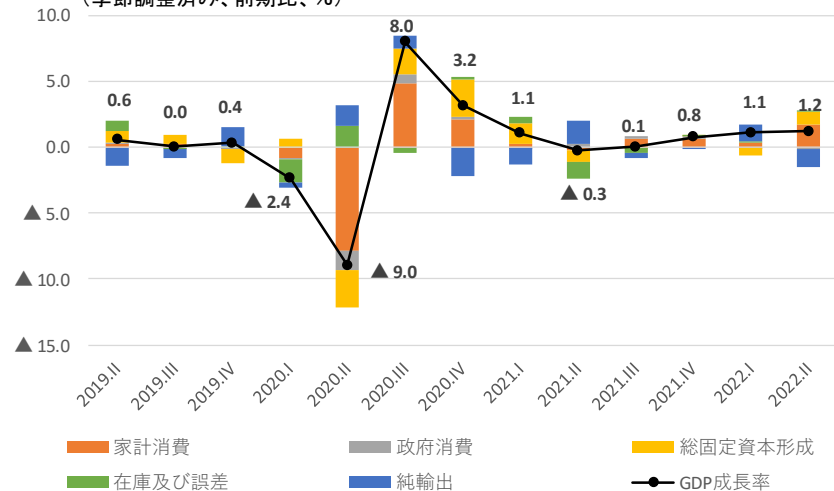
実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)

(季節調整済み、前期比、%)



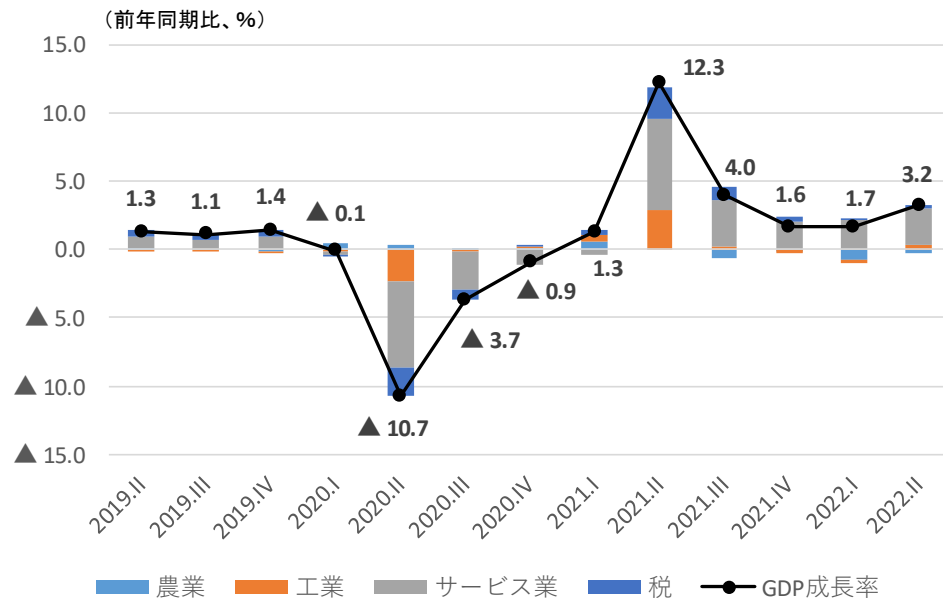
実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)

(季節調整済み、前期比、%)

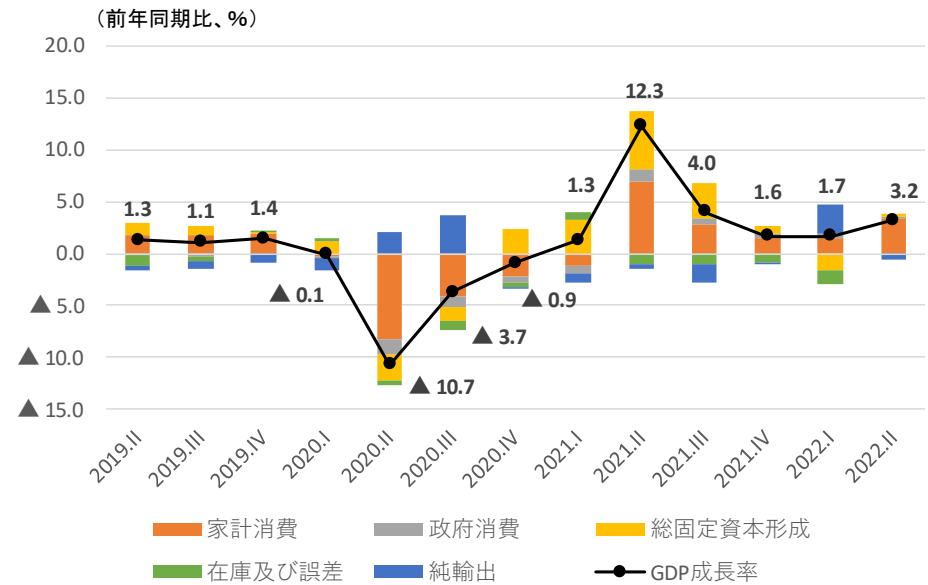


※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「誤差」、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典) 伯地理統計院(IBGE) 2

実質GDP成長率と産業別寄与度の推移(四半期)



実質GDP成長率と需要項目別寄与度の推移(四半期)



※寄与度はIBGE公表値から当館にて試算、「在庫及び誤差」はGDP全体から各項目を除いたもの。(出典)伯地理統計院(IBGE)

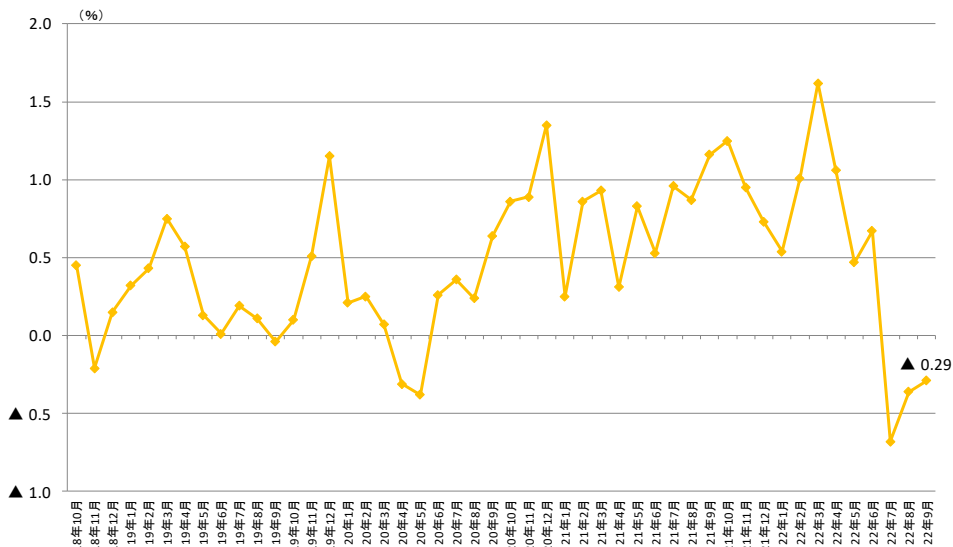
《各機関によるGDP成長率見通し》

	2022	2023
IMF (2022年10月)	+2.8%	+1.0%
伯経済省 (2022年9月)	+2.7%	2.5%
伯中銀 (2022年9月)	+2.7%	+1.0%
伯中銀Focus (2022年10月28日)	+2.76%	+0.64%

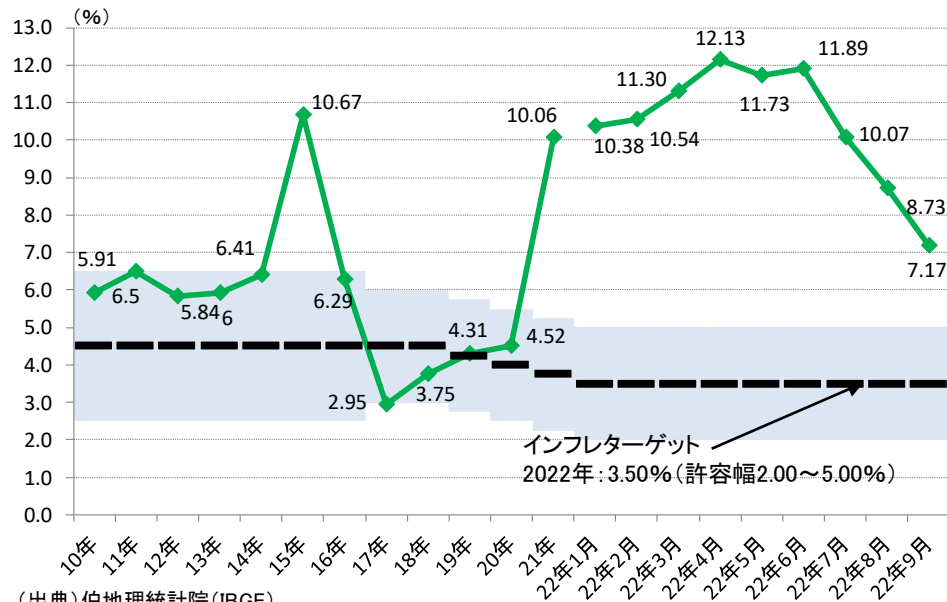
物価の動向

9月の拡大消費者物価指数(IPCA)は前月比▲0.29%、直近12か月累計では7.17%となった。

拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(各月)



拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率の推移(12か月累計)



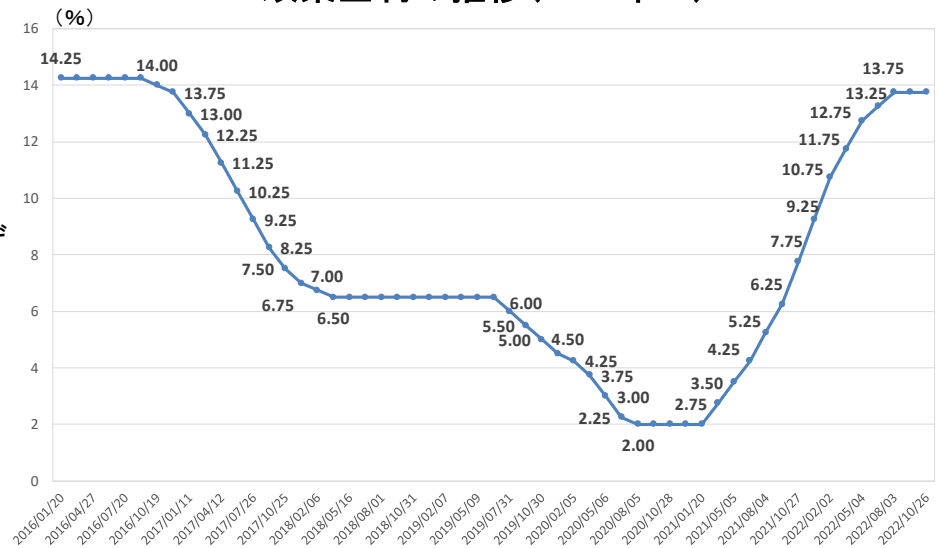
(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

政策金利

10月25日及び26日に開催された伯中央銀行金融政策委員会 (Copom)において、政策金利であるSelic金利を13.75%に据え置くことが決定された。政策金利の据置は前回9月会合から2会合連続。伯中銀は2021年3月から2022年8月まで12会合連続で、政策金利の引上げを実施していた。次回会合は12月6日及び7日に開催予定。

政策金利の推移(2016年～)

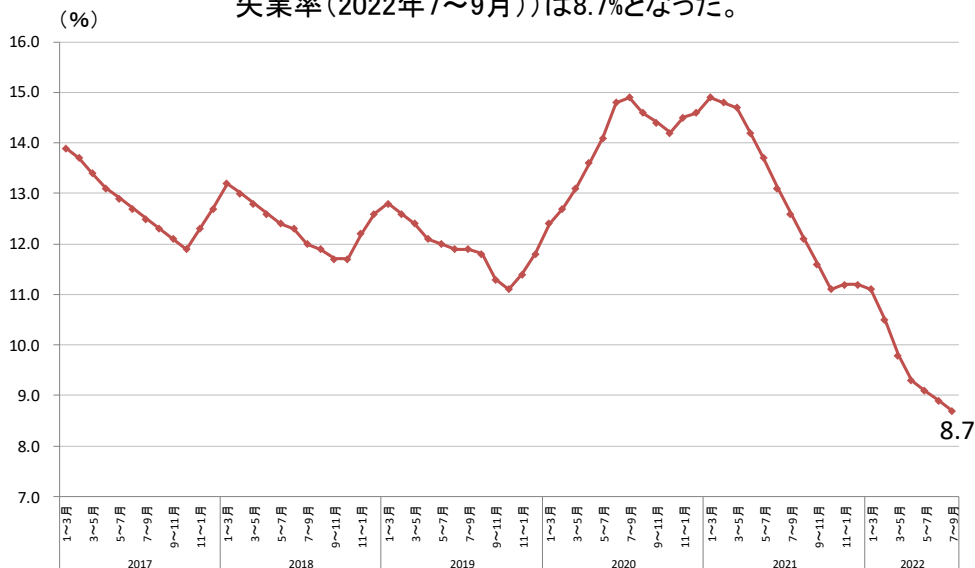


(出典) 伯中央銀行

労働市場、消費、生産、財政収支の動向

失業率の推移(3か月移動平均)

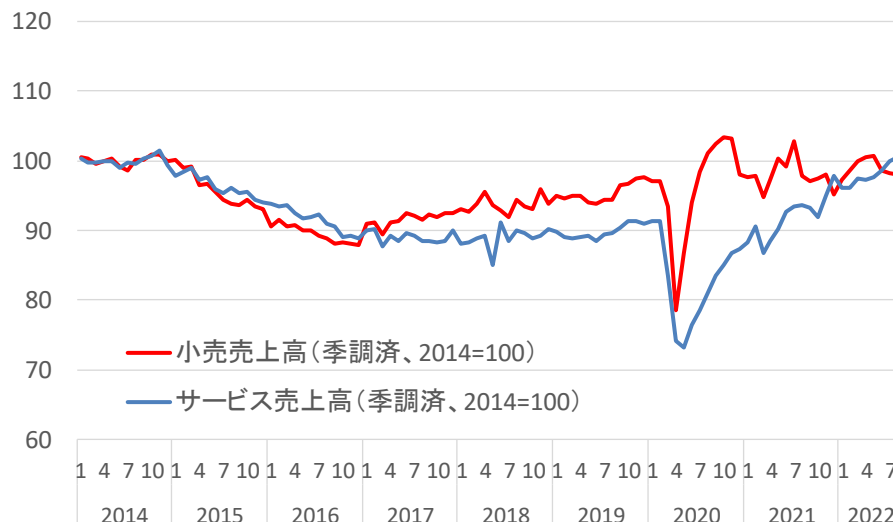
失業率(2022年7~9月)は8.7%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

小売・サービス売上高指数の推移(月次)

小売売上高(8月)は前月比▲0.1%、前年同月比+1.6%となった。サービス売上高(7月)は前月比+0.7%、前年同月比+8.0%となった。



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

鉱工業生産指数の推移(月次)

鉱工業生産(8月)は前月比▲0.6%、前年同月比+2.8%となった。

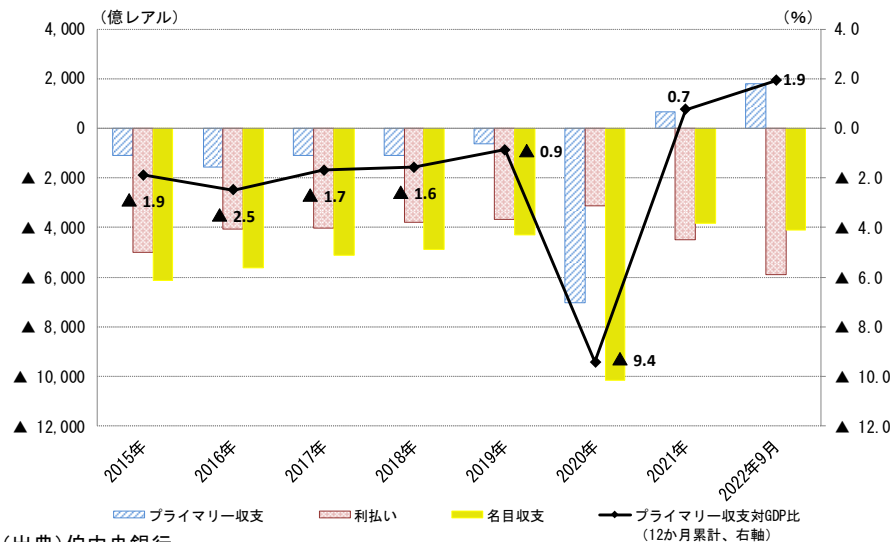
(2012年=100、季調済)



(出典) 伯地理統計院 (IBGE)

財政収支の推移(12か月累計)

公的部門の2022年9月のプライマリーバランスは1,814億レアルの黒字、利払いは▲5,920億レアル、名目収支は▲4,106億レアルとなった。



(出典) 伯中央銀行

国際収支の動向

国際収支

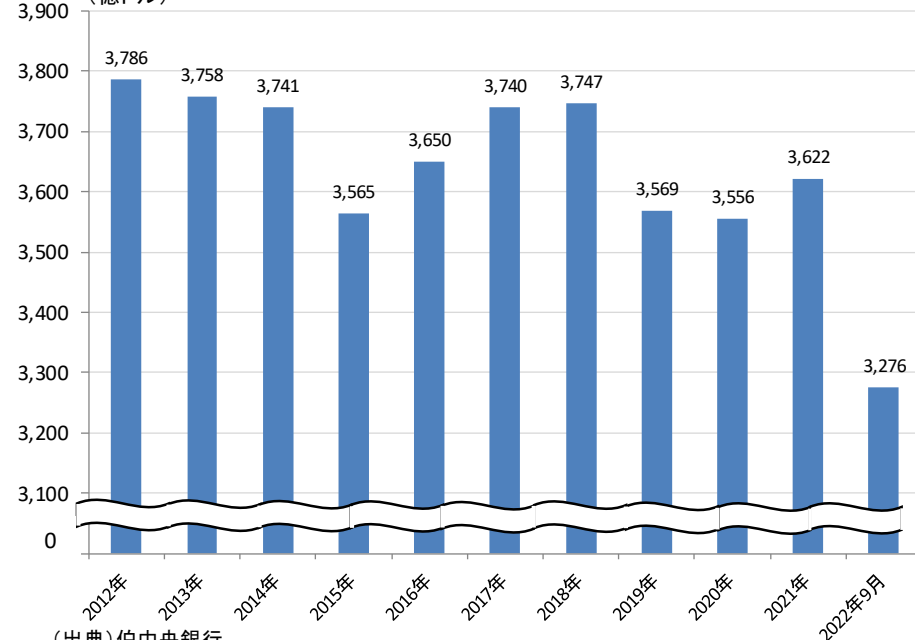
(億ドル)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年 9月
経常収支	▲ 220	▲ 515	▲ 650	▲ 245	▲ 279	▲ 296
貿易収支	573	434	265	324	364	349
サービス収支	▲ 383	▲ 360	▲ 355	▲ 209	▲ 171	▲ 198
第1次所得収支	▲ 432	▲ 588	▲ 573	▲ 383	▲ 505	▲ 476
第2次所得収支	21	▲ 0	12	23	33	30
資本移転収支	4	4	4	41	2	2
金融収支	▲ 171	▲ 523	▲ 644	▲ 125	▲ 337	▲ 344
直接投資	▲ 475	▲ 761	▲ 464	▲ 413	▲ 273	▲ 515
対外直接投資	213	20	228	▲ 35	192	191
対内直接投資	689	782	692	378	464	707
証券投資	177	69	192	129	▲ 57	90
金融派生商品	7	28	17	54	▲ 10	▲ 3
その他投資	69	113	▲ 128	247	▲ 137	77

(出典) 伯中央銀行

外貨準備高

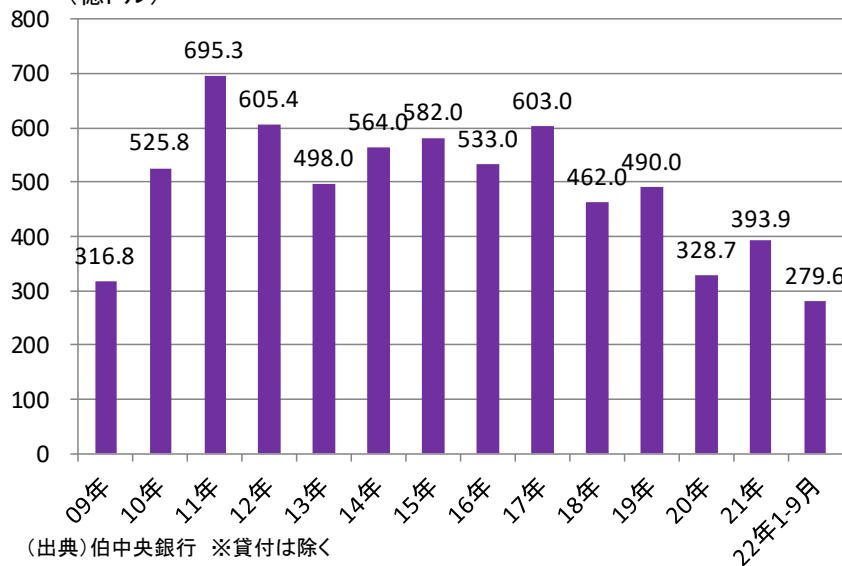
(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

外国直接投資(資本参加分)流入額

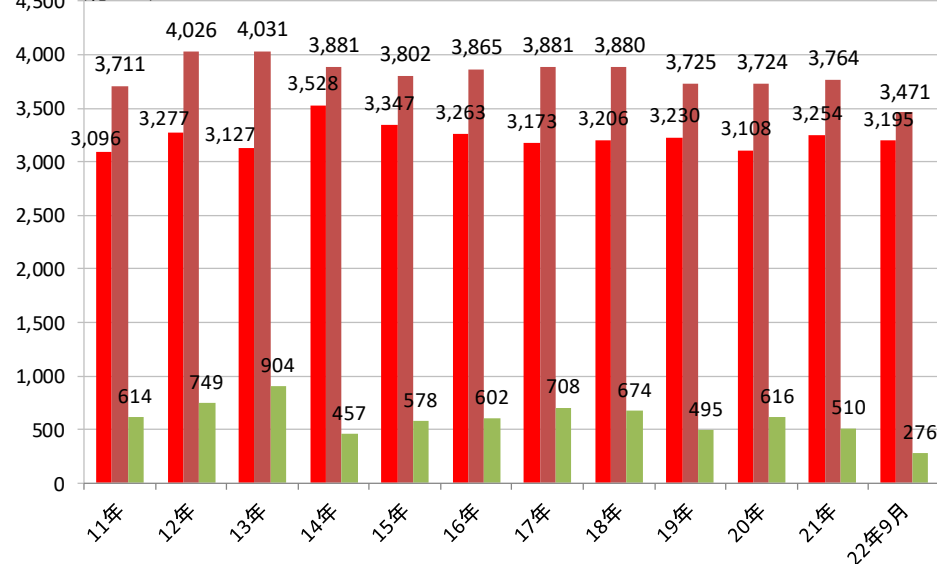
(億ドル)



(出典) 伯中央銀行 ※貸付は除く

対外債務・債権収支

(億ドル)



(出典) 伯中央銀行

■ 対外債務残高 ■ 対外債権残高 ■ 対外債務・債権収支

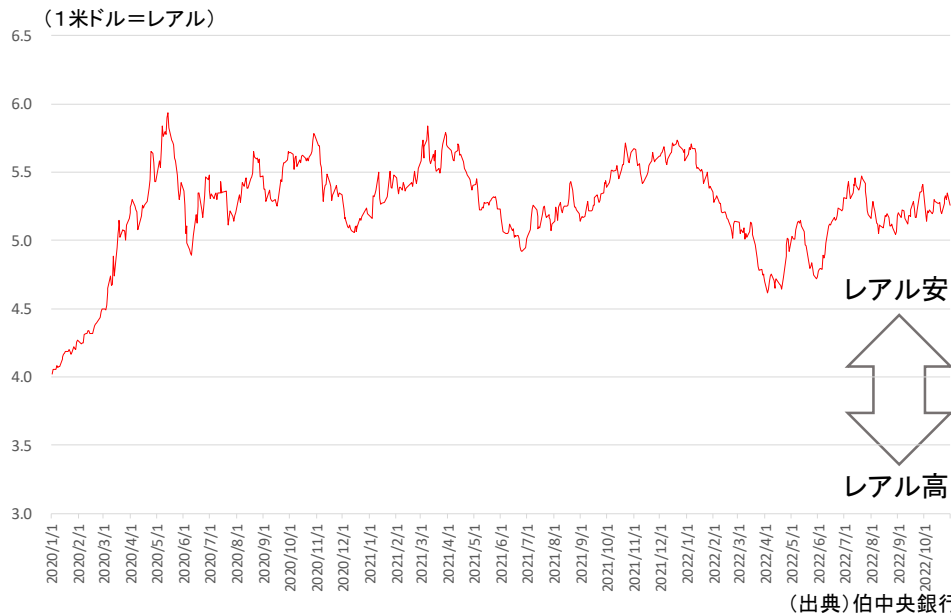
為替・株価の推移

10月の為替市場は5.14～5.35リアル/ドルで推移。

月の前半は5.14～5.30リアル/ドルで推移。ブラジル大統領選挙第1回投票の結果を受け月初にはリアル高となったが、米国の金融政策や英国の経済政策を巡る動向等を材料に、概ね下落傾向で推移した。

月の後半は5.19～5.35リアル/ドルで推移。米国の金融政策や欧州経済の他、ブラジル大統領選挙決選投票を巡る動向等を材料に上下する展開となった。

為替の推移(対米ドル)

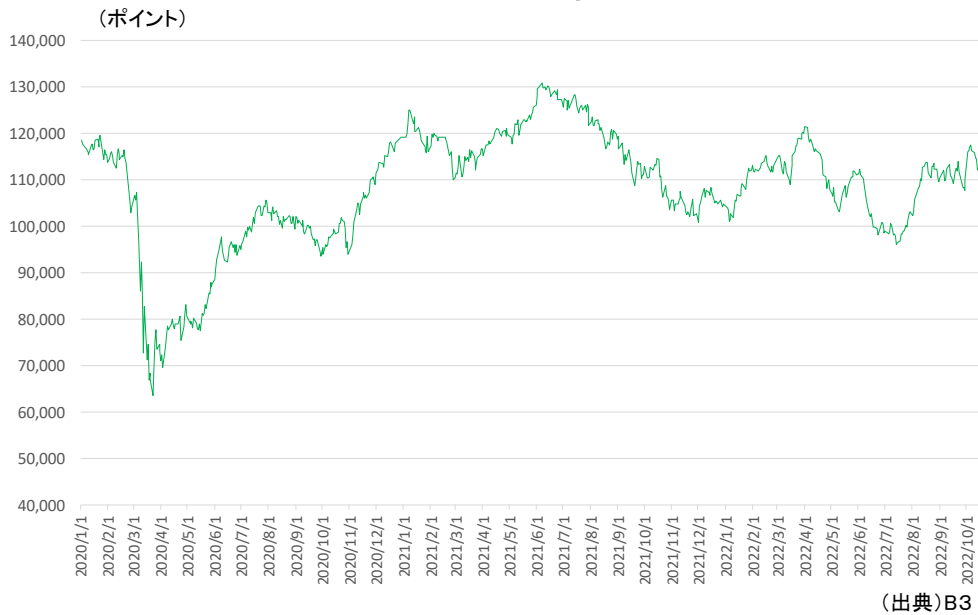


10月の株式市場は112,072～119,929ポイントで推移。

月の前半は112,072～117,561ポイントで推移。ブラジル大統領選挙第1回投票の結果を受け上昇するも、米国の金融政策や世界経済の動向等を材料に概ね下落傾向で推移した。

月の後半は112,764～119,929ポイントで推移。資源価格やブラジル大統領選挙決選投票を巡る動向等を材料に上下する展開となった。

株価指数(Ibovespa)の推移

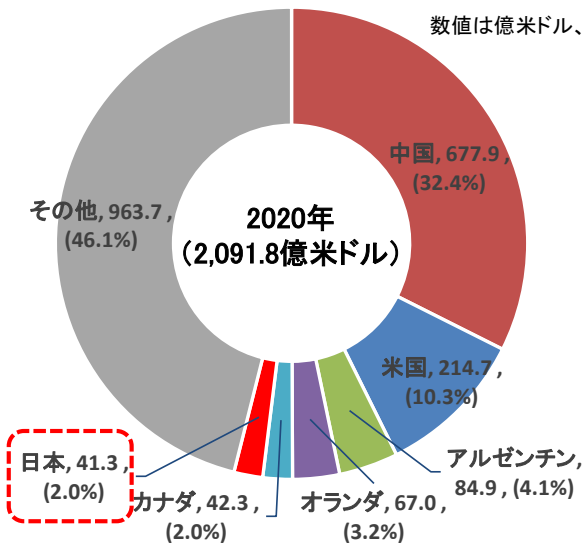


III. 貿易動向

ブラジルの貿易は、輸出、輸入ともに中国、米国、アルゼンチンが上位に占めている。2021年においては、日本は貿易相手国として輸出で9位、輸入で8位となっている。

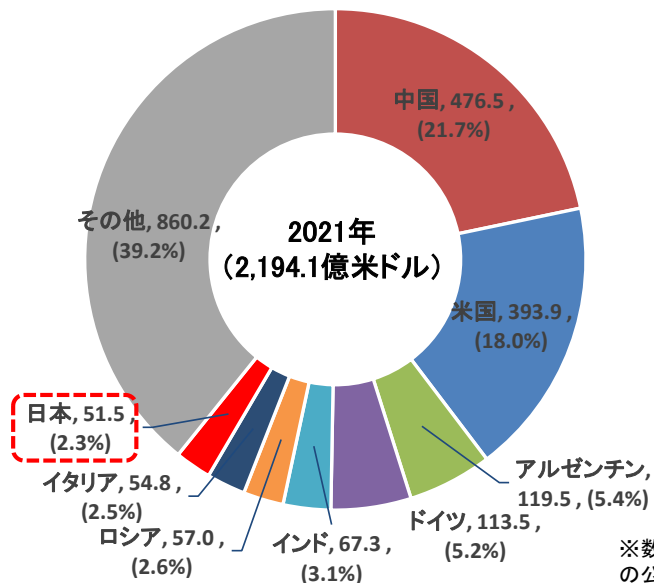
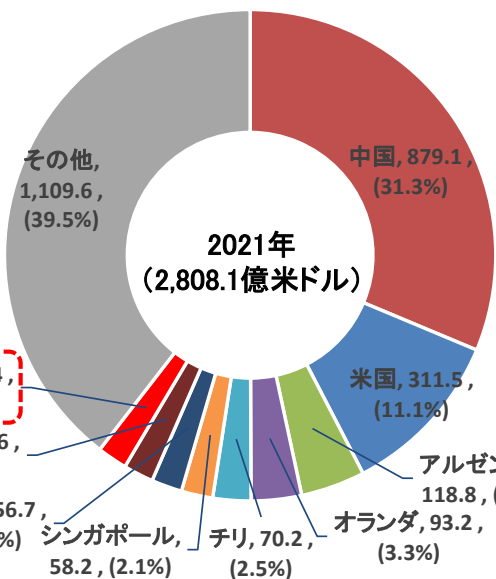
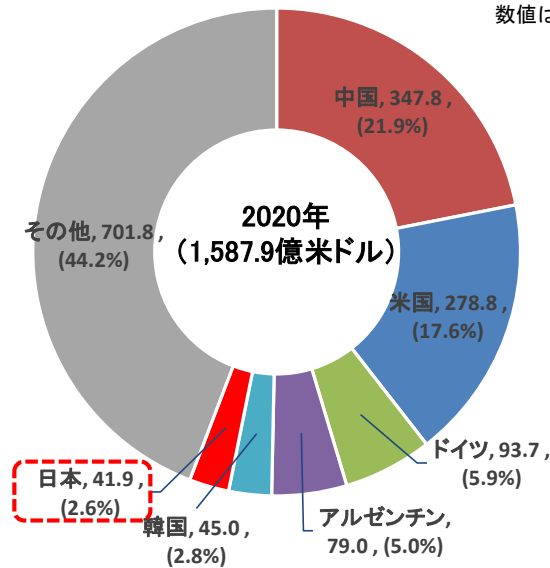
輸出額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比



輸入額と構成比(国別)

数値は億米ドル、括弧内は構成比

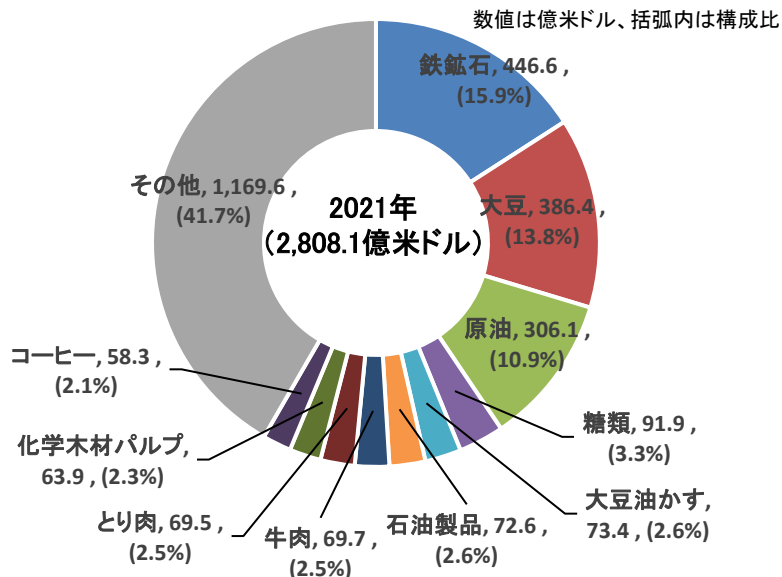


(出典) 伯経済省
※数値は2022年2月時点の公表値から算出

主要輸出品目は資源(鉄鋼石、原油等)、食品(大豆、肉類、糖類等)。主要輸入品目は石油製品、自動車部分品を中心に、電気機器や医療用品など幅広い品目にわたっている。

ブラジルの主要輸出品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



【鉄鋼石】

	億米ドル	構成比(%)
全体	446.6	100.0
① 中国	288.4	64.6
② マレーシア	28.6	6.4
③ バーレーン	17.9	4.0
④ <u>日本</u>	17.9	4.0
⑤ オマーン	13.0	2.9

【大豆】

	億米ドル	構成比(%)
全体	386.4	100.0
① 中国	272.1	70.4
② スペイン	16.7	4.3
③ タイ	12.9	3.3
④ オランダ	12.0	3.1
⑤ トルコ	10.1	2.6

【原油】

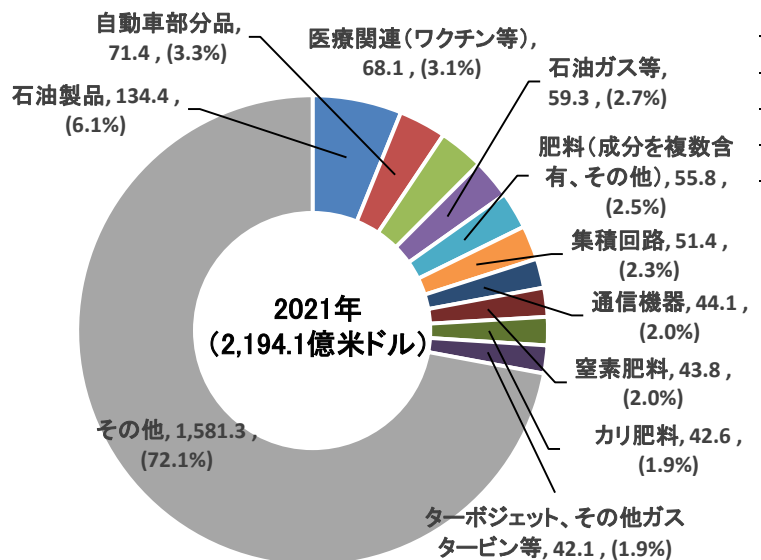
	億米ドル	構成比(%)
全体	306.1	100.0
① 中国	142.5	46.6
② 米国	30.8	10.1
③ インド	22.4	7.3
④ チリ	19.6	6.4
⑤ ポルトガル	16.3	5.3

【糖類】

	億米ドル	構成比(%)
全体	91.9	100.0
① 中国	14.1	15.4
② アルジェリア	7.8	8.4
③ ナイジェリア	6.0	6.5
④ バングラデシュ	5.8	6.3
⑤ カナダ	4.4	4.8

ブラジルの主要輸入品目と主要相手国

数値は億米ドル、括弧内は構成比



【石油製品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	134.4	100.0
① 米国	74.4	55.4
② インド	13.5	10.1
③ UAE	7.3	5.4
④ オランダ	6.4	4.7
⑤ スペイン	4.5	3.4

【自動車部分品】

	億米ドル	構成比(%)
合計	71.4	100.0
① <u>日本</u>	9.3	13.1
② 中国	8.8	12.3
③ ドイツ	8.5	11.8
④ メキシコ	6.3	8.8
⑤ 米国	5.8	8.1

医療用品(ワクチン等)

	億米ドル	構成比(%)
合計	68.1	100.0
① 米国	23.7	34.9
② 中国	12.9	19.0
③ ベルギー	7.8	11.4
④ スイス	5.3	7.8
⑤ ドイツ	4.1	6.0

【石油ガス等】

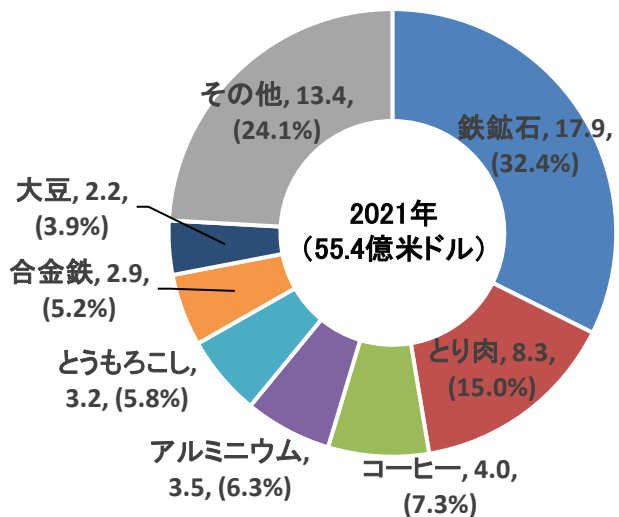
	億米ドル	構成比(%)
合計	59.3	100.0
① 米国	41.8	70.5
② ボリビア	12.1	20.3
③ アルゼンチン	2.8	4.7
④ トリニダードトバゴ	1.5	2.5
⑤ アンゴラ	0.5	0.8

対日貿易

対日貿易においては、主要輸出品目は資源（鉄鉱石、アルミニウム等）や食品（肉類、コーヒー、トウモロコシ、大豆等）、主要輸入品目は自動車関連が中心となっている。

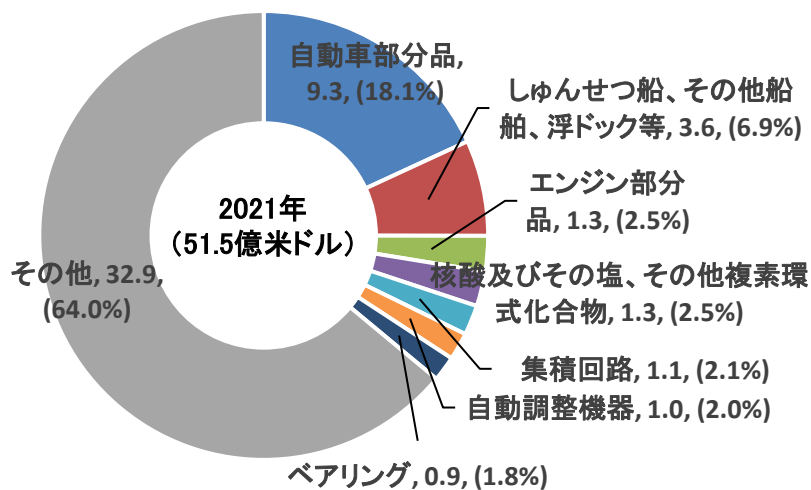
ブラジルの対日本主要輸出品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



ブラジルの対日本主要輸入品目

数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) 伯経済省

※数値は2022年2月時点の公表値から算出

ブラジルの対日本主要輸出品目の日本側から見たブラジルの構成比(2021年)

品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)	品目	億円	構成比 (%)
【鉄鉱石】			【とり肉】			【コーヒー】			【アルミニウム】		
総計	19,656.0	100.0	総計	1,365.9	100.0	総計	1,447.3	100.0	総計	6,836.6	100.0
① オーストラリア	10,854.7	55.2	① <u>ブラジル</u>	889.5	65.1	① <u>ブラジル</u>	446.9	30.9	① ロシア	1,357.5	19.9
② <u>ブラジル</u>	5,592.5	28.5	② タイ	407.9	29.9	② コロンビア	228.8	15.8	② オーストラリア	1,120.3	16.4
③ カナダ	1,385.4	7.0	③ アメリカ合衆国	32.6	2.4	③ ベトナム	200.7	13.9	③ アラブ首長国連邦	1,088.7	15.9
④ 南アフリカ共和国	715.1	3.6	④ ハンガリー	15.9	1.2	④ グアテマラ	101.1	7.0	④ ニューゼaland	425.2	6.2
⑤ アメリカ合衆国	275.9	1.4	⑤ フランス	10.6	0.8	⑤ エチオピア	79.3	5.5	⑤ <u>ブラジル</u>	382.8	5.6
【とうもろこし】			【合金鉄】			【大豆】					
総計	5,199.6	100.0	総計	3,134.2	100.0	総計	2,276.9	100.0			
① アメリカ合衆国	3,779.6	72.7	① カザフスタン	657.4	21.0	① アメリカ合衆国	1,702.9	74.8			
② <u>ブラジル</u>	738.9	14.2	② 中華人民共和国	453.4	14.5	② <u>ブラジル</u>	320.2	14.1			
③ アルゼンチン	416.2	8.0	③ ロシア	396.0	12.6	③ カナダ	226.0	9.9			
④ 南アフリカ共和国	242.6	4.7	④ <u>ブラジル</u>	339.6	10.8	④ 中華人民共和国	26.2	1.1			
⑤ フランス	8.8	0.2	⑤ 南アフリカ共和国	307.7	9.8	⑤ ロシア	1.5	0.1			

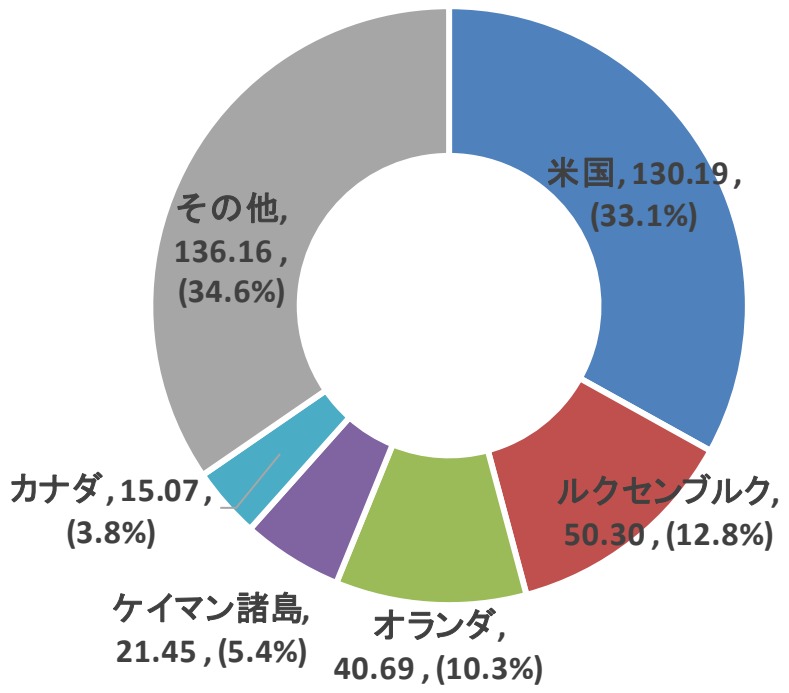
※日伯ともにHS番号4桁の数値。鉄鉱石2601、とうもろこし1005、とり肉0207、コーヒー0901、アルミニウム7601、合金鉄(フェオアロイ)7202、大豆1201

(出典) 財務省(日本)
※数値は2022年1月末時点の公表値から算出

IV. 日伯投資

対ブラジル直接投資(資本参加分)の国別構成比
総額393.86億ドル(2021年)

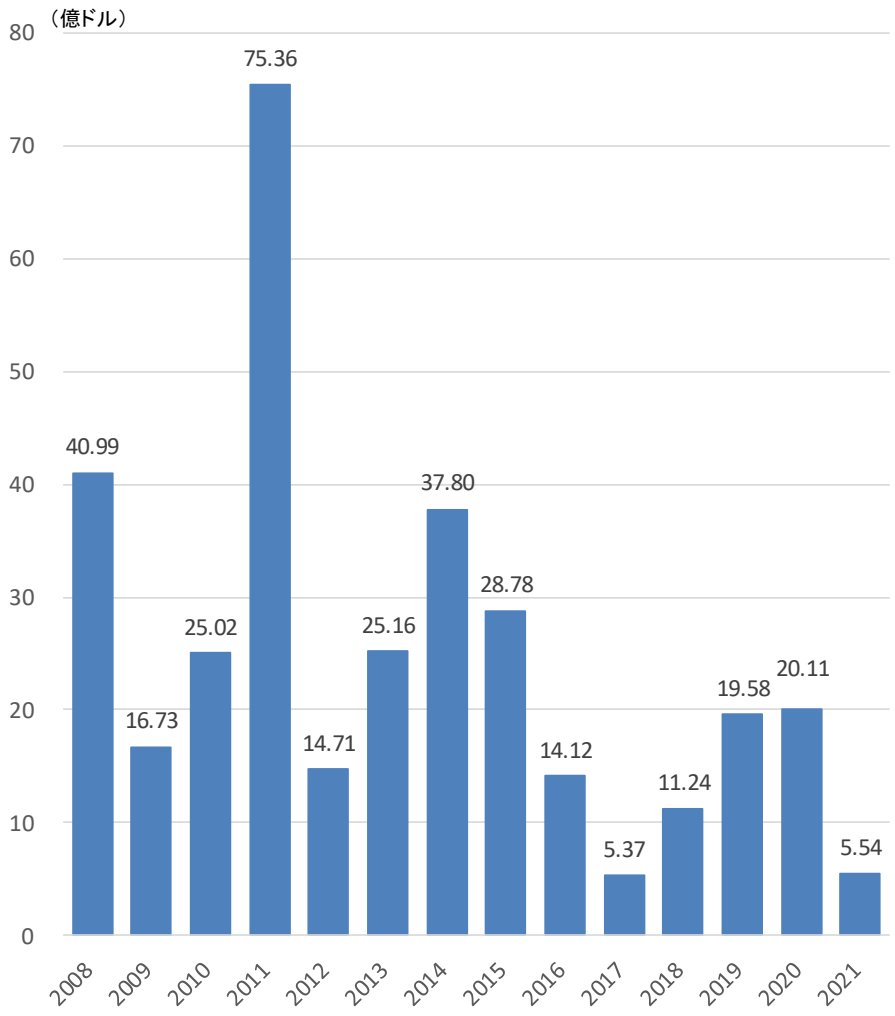
数値は億米ドル、括弧内は構成比



(出典) 伯中央銀行

2021年の日本の直接投資額(資本参加分)は5.54億ドルで構成比は1.41%と、17番目の規模。

日本の対ブラジル直接投資(資本参加分)の推移



(出典) 伯中央銀行

※ 中国: 2.35億ドル(0.44%)。但し、第三国経由の投資額が含まれていないため、実際よりも少ない数値となっている。